

附属機関等の会議録

会議の名称		田川市高齢者保健福祉計画（第 8 次）評価委員会
開催日時		令和 2 年 3 月 2 5 日（水）午後 2 時から
開催場所		田川市役所 第 2 委員会室
出席者	委員	倉員委員長、國松副委員長、安高委員、櫛委員、柏原委員
	事務局	高齢障害課（小川課長、西課長補佐、辻係長、平緒主任、進主任）、保健福祉課（長係長、河野主任）、安全安心まちづくり課（溝口室長）
	その他	
議事内容		<p>【議題】 第 8 次計画第 5 章の評価について</p> <p>基本目標 1 高齢者の健康づくりと介護予防の推進</p> <p>基本目標 2 高齢者の生きがいつくりの支援</p> <p>基本目標 3 高齢者の安全・安心な暮らしの実現</p> <p>基本目標 4 高齢者の在宅生活の支援</p> <p>基本目標 5 高齢者がいつまでも住み続けられる地域へ</p> <p>【評価結果】 事務局案を承認</p> <p>【質疑応答、評価委員からの意見】</p> <p>委員：高齢者は増えているのに老人クラブやシルバー人材センターの会員数が減ってきているとの説明があったが、目標達成に向けて考えてほしい。</p> <p>事務局：対象者が 60 歳以上であり、就労中の方も多数おられ、そのことが会員数等に関係していると考えている。今後も会員数等の増に向け、取り組みを強化していきたい。</p> <p>委員：いろいろな活動において、どれも参加するメンバーは同じであると感じている。実際の参加人数を調査してはどうか。</p> <p>委員：避難行動要支援者の個別計画策定について、現在考えてい</p>

	<p>る具体的な方法はあるか。</p> <p>事務局：支援者と要支援者1対1で考えているが、マッチングが非常に難しい。要支援者は1,500人おり、精査が必要だと考えており、課内で検討している状況である。</p> <p>委員：区によって温度差があると思っている。小さな単位にした方が動きやすいのではないか。</p> <p>委員：（高齢者運転免許証自主返納支援事業について）特典は1度限りであり、運転免許証を返納してしまうと移動手段がなくなり困ってしまう高齢者が多いのではないか。</p> <p>委員：高齢者にとって移動手段がないということは切実な問題である。</p> <p>委員：人口から考えると各種ボランティア育成講座の参加者数が少ないのではないか。また、講座に参加した方は、その後どのように活動されているのか。</p> <p>事務局：健康たーんとクラブや生きいき健康教室でボランティアとして活動している。また、地域において手伝う方よりも手伝ってもらいたい方の方が多いという実態もある。</p> <p>委員：ボランティアの発掘と育成は大切な社会資源であり、講座の在り方も重要である。また、生きがいや就業支援という面から有償ボランティアという考え方があってもいいのではないか。</p> <p>委員：（全体について）統合した方が良い事業もあるのではないか。事業数が少なくなった方が動きやすいのではないか。</p> <p>委員：高齢化とともに認知症の方も増えていくと思われるため、課同士の横のつながりで事業に多面的に取り組む必要があるのではないか。また、交通手段がなければ動けないため、今後は交通手段が一層大事になってくると思っている。</p>
問合せ先	高齢障害課 高齢介護係（TEL：85－7129）
その他の事項	